

授業科目	神経障害理学療法治療学 I				
担当者	岩田 篤 (実務経験者)、植田翔介 (実務経験者)			(オムニバス)	
実務経験者の概要	岩田 篤 (理学療法士として、慢性期病院での 15 年間の実務経験あり) 植田翔介 (理学療法士として、脊髄損傷患者専門施設での実務経験あり)				
学科名	理学療法学専攻	学 年	3 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

脳血管障害患者および脊髄損傷患者の理学療法における神経科学の重要性を説き、根拠ある理学療法を展開するための基礎知識の習得とその方法論を学習する。

岩田 篤 (実務経験者)、植田翔介 (実務経験者)

## ■ 到達目標

- 1) 神経機能解剖学および神経生理学等の基本的内容が理解できる。
- 2) 各種神経疾患に対する理学療法の方向性を理解すべく、脳損傷の病態および症状が理解できる。

## ■ 授業計画

- 第 1 回 神経障害理学療法を科学的に行うために～目標設定の重要性～
- 第 2 回 神経系の基礎知識
- 第 3 回 脊髄損傷の理学療法 1
- 第 4 回 脊髄損傷の理学療法 2
- 第 5 回 脊髄損傷の理学療法 3
- 第 6 回 脊髄損傷の理学療法 4
- 第 7 回 脳血管障害後 急性期の病態と理学療法
- 第 8 回 脳血管障害後 急性期の病態と理学療法 (国家試験対策含む)
- 第 9 回 脳血管障害後 回復期／維持期の病態と理学療法
- 第10回 脳血管障害後 回復期／維持期の病態と理学療法 (国家試験対策含む)
- 第11回 片麻痺患者の歩行障害と理学療法
- 第12回 片麻痺患者の歩行障害と理学療法 (国家試験対策含む)
- 第13回 片麻痺患者の麻痺の回復と運動学習
- 第14回 片麻痺患者の麻痺の回復と運動学習 (国家試験対策含む)
- 第15回 まとめ

## ■ 評価方法

科目試験 (筆記試験) : 80%、小テストおよび提出課題 : 20%

## ■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

講義は基本的には教科書の章立てに合わせた形で行います。理解度を促進するために、次の講義で小テストを行いますので、翌週までに該当する箇所を教科書および配布資料をもとに必ず復習しておいてください。

## ■ 教科書

書 名 : 15レクチャーシリーズ 神経障害理学療法学 I  
著者名 : 石川 朗 (総編集)  
出版社 : 中山書店

## ■ 参考図書

書名：標準理学療法学 神経理学療法学

著者名：吉尾雅春・他（編集）

出版社：医学書院

書名：病気がみえる vol.7 脳・神経

著者名：医療情報科学研究所（編集）

出版社：メディックメディア

書名：脳卒中ビジュアルテキスト 第2版

著者名：高木康行

出版社：医学書院

書名：脳の機能解剖と画像診断

著者名：真柳佳昭

出版社：医学書院

## ■ 留意事項

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

## ■ 講義受講にあたって

この科目を理解するためには、「神経系の解剖学」「生理学Ⅰ～Ⅳ」「臨床神経学Ⅰ・Ⅱ」の科目の理解が重要である。

また、「神経障害理学療法治療学Ⅱ」へとつながる内容である。